

市民公開講座

脳卒中などによる 手足のつっぱりけいしゆく(痙縮)に 対する効率的なリハビリ

申し込み
不要

参加
無料

手足の痙縮は、手指が握ったままとなり、手を洗うのに苦労するなど、患者さんの日常生活の負担となることがあります。ご自身やご家族の脳卒中後、時間が経過した手足のつっぱりはよくなると治療を諦めていませんか？

日々の生活を向上させるためには、継続的なリハビリテーションと、手足の痙縮の治療が大切です。治療法は進歩しており、様々な選択肢があります。今回は、脳卒中後遺症の痙縮に対する治療についてご紹介します。

平成
30年 **7月14日** **土**

13:00~14:00(開場 12:30)

座長/北斗病院副院長・脳神経内科部長 金藤 公人医師

とかちプラザ 講習会401

帯広市西4条南13丁目1番地 ☎0155-22-7890

演者

社会医療法人 北斗 北斗病院
医療技術部理学療法科 主任
脳卒中認定理学療法士

中嶋 宏成

演者

社会医療法人 北斗 北斗病院
医療技術部作業療法科 主任
作業療法士

葛西 亮太

主催/社会医療法人 北斗 北斗病院

帯広市稲田町基線7番地5 ☎(0155) 48-8000